

とができなかつた。結果は負け。試合のあと悔しさでいっぱいになった。スタメンで、出場できたことはうれしかったけど、それ以上に勝利に貢献できなかつたことが悔しかった。その悔しさは、時間がたっても消えなかつた。だからぼくは帰ってきてすぐに練習を始めた。あの打席を思い出しながら、どうすれば打てるようになるのかを考えて、何度もバットをふつた。悔しい思いがもつとがんばろうという思いに変わった。

未来のぼくへ。ぼくは来年中学生になる。うまくいかないことや苦しいこともきつとあると思う。そんな時には、この全国大会で味わった悔しさを思い出して、あの時打てなかつた一本を、次は必ず打てるようになることを信じて、努力してほしい。この経験を忘れずにあきらめずに前に進み続けて、いつかまた、全国大会で夢をかなえたい。それが、今のぼくから未来のぼくへのメッセージだ。